

桜（以下、総称名の場合に使用）は日本を代表する花です。名所となっている地には、国内外から多くの観光客が訪れ、日本を象徴する景観の１つとなっています。下田市も市の木として、桜（大島桜）が選ばれています。

花見の文化は、奈良時代、唐の文化に憧れ、中国から伝来した梅や桃などの花を観賞しながら詩歌を詠む、曲水の宴が行われていたことが始まりとされています。その後、平安時代の国風文化の発展の中で、桜が花見の対象とされるようになったといわれています。本号では、日本の景観資源として欠かすことができない桜を題材に、景観について考えてみたいと思います。

※生物種を示す名称はカタカナ表記



本郷公園桜並木と寝姿山

景観、ランドスケープとは…

景観という言葉は、今や観光やまちづくりにおいて重要なキーワードとなっています。しかし、その本義を理解せずに景観へ配慮したまちづくりは成し得ません。景観について考えるとなると、建築物や工作物の高さや色彩といった問題に焦点が当たりがちですが、それは１つの側面に過ぎません。景観は、土地自然を基調とし、人々の生活文化が表出したもので、自然性に比重をおいた自然景観、人文性に比重をおいた文化景観や歴史景観、その間の複合景観があるとされ、それぞれにおいて考える必要があると言えます。

日本で最初に景観という言葉を使ったのは、天然記念物の概念を日本に広めた先駆者で、桜の研究者でもある三好学といわれています。三好は、ドイツ語の Landschaft に対して、「景観」という言葉を用いたとされています。今では英語の Landscape に景観という言葉をあてます。日本語における景観には、「土地の広がり」と「眺め」の意味があり、前者は地理学・生態学などにおいて、後者は造園学や土木工学などに用いられます。

Landscape を取り扱う分野として、Landscape Architecture（造園）があります。これは、自然と人間の調和や、そのための具体的なデザインを追求する分野として命名されたもので、有名なアメリカのセントラルパークを設計した F.L. オルムステッドが提唱した概念です。オルムステッドは、その職能である Landscape Architect は“元来「scientific farmer」とでも呼ぶべき自然に関するエキスパートでなければならない。”としています。このことから、景観やランドスケープの構成には、自然材料（主に植物）を活用することが重要であると同えます。そして、桜の名所の誕生は、我が国の造園史と深く関係しています。

桜の花見の文化はいかにして大衆化したか？

桜の花見は、古くから貴族文化的（漢詩や和歌など）なものと農民文化的（「春山行き」といった行事）なものの二つがありましたが、江戸時代に入ると、花見の様相は大きく変化していきました。この要因の一つに「公園」の誕生が関係しています。徳川 8 代将軍の徳川吉宗（1716－1745）は享保の改革の中の政策として、品川御殿山、隅田川堤、飛鳥山、中野で遊園造成を行いました。御殿山、隅田川堤、飛鳥山には桜が植栽され、中野には紅桃が植栽されました。これらは幕府の直轄地（官有地）でありましたが、庶民に公開されました。この頃から庶民に「物見遊山」と称し、眺望の良い高台や社寺境内地を訪ね歩く文化が生まれ、現在の花見の文化につながったとされます。また、江戸時代における接木技術は、現在とほぼ変わらないほどのレベルで体系化されていたと考えられています。

明治 6 年には太政官布達第 16 号により、古来より人が集まる遊観の場所については、永く国民が楽しむ“公園”とすべきであるとされ、東京、京都、大阪で「公園」が定められました。このとき、吉宗が植樹した地の１つ、飛鳥山公園は東京府下で最初に設置された公園の１つとなりました。

染井吉野は、接木によって増やされ、江戸末期から明治期にかけて流通し始め、1900 年に命名されました。その後も戦後復興や高度経済成長の中、全国の公園、神社に桜の植樹が進み、景観構成に大きく影響を与えることとなりました。このようにして、現在の群としての桜を楽しむ花見の文化が形成されていきました。ちなみに、雑種である染井吉野の起源は諸説ありますが、親種となるオオシマザクラ、エドヒガンが生育する伊豆半島にあるとされるのが有力とされています。



写真－１ 今でも多くの花見客が訪れる東京上野

※明治 6 年 1 月 15 日太政官布達第 16 号を受けて、東京府（現東京都）は、浅草（金竜山浅草寺）、上野（東叡山寛永寺）、芝（三緑山増上寺）、深川（富岡八幡社）、飛鳥山の 5 箇所を上申し、公園が誕生した。

植物学の観点から見る桜

四季の変化の味わいは日本ならではのあり、季節変化の少ない常緑樹を背景（地）として構成し、季節性のある梅や桜、紅葉を点景（図）として愛でる視覚的演出がなされるのが、日本式の庭園の特徴ともいえます。そんな景観の中で“図”となる桜ですが、どれくらいの種類の桜が日本に存在するかご存知でしょうか。

国内に自生する桜（＝野生種）は、ヤマザクラ、オオシマザクラ、カスミザクラ、オオヤマザクラ、マメザクラ、タカネザクラ、チョウジザクラ、エドヒガン、ミヤマザクラ、カンヒザクラ、クマノザクラの 11 種といわれています（そのうち、１月に開花するカンヒザクラについては、沖縄県に自生地が存在していますが（写真－２）、自生ではないという説もあり、カンヒザクラを除いた 10 種とすることもあります。）。それに対し、お馴染みの染井吉野や河津桜、枝垂桜は栽培品種の１種となり、その数は野生種に比べて、圧倒的に多いです。例えば、河津桜はオオシマザクラとカンヒザクラの自然交配種とされ、枝垂桜は広義には枝が垂れる桜の総称で、狭義にはエドヒガン系統の枝垂れ性の栽培品種となります。

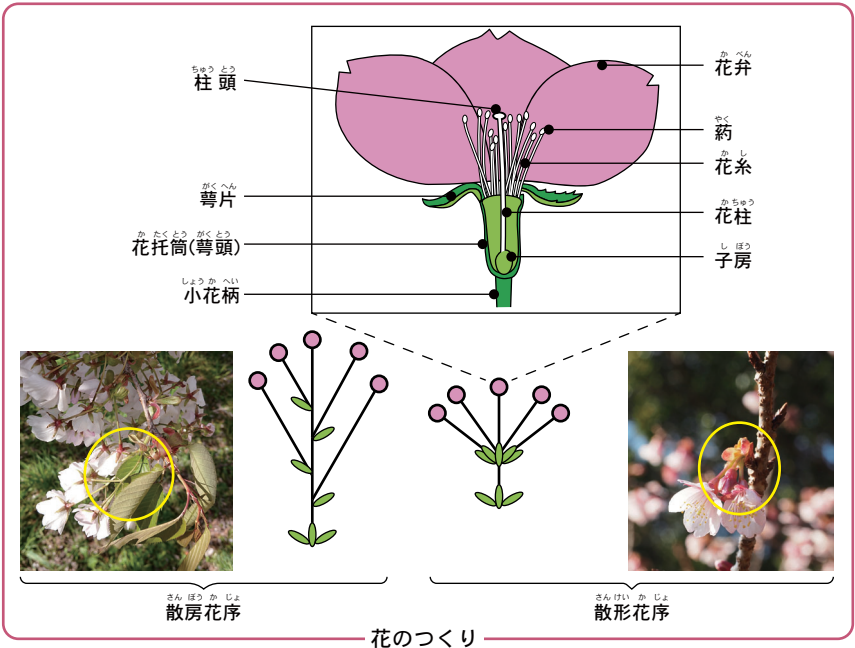
野生種の桜については、５枚の花弁（花びら）が基本で、白または薄紅色のものが多くです。桜の識別は、花弁の色、花托筒の形態（鐘形、筒形、壺形など）、花序（散形花序、散房花序）、各部位のサイズ、葉の形態、毛の有無等で識別します。下田では、ヤマザクラ、オオシマザクラ、エドヒガンが生育しています。

ヤマザクラは染井吉野などと異なり、花の開花時に赤みがかった若葉を展開させるのが特徴で、花弁の色は薄紅色です。染井吉野が主流となる前は、ヤマザクラが観賞の対象とされていたと考えられています。オオシマザクラはカスミザクラやヤマザクラの海岸型あるいは島嶼型と考えられており、伊豆大島に自生し（写真－３）、伊豆半島、三浦半島、房総半島にも生育しています。オオシマザクラもヤマザクラと同じく、開花と同時に若芽を展開させますが、こちらは緑色のものが多く、また、花の色は白色です。エドヒガンは花期が早く、彼岸のころに咲くことが名の由来で、花托筒が壺形になるのが特徴です。

ちなみに、早咲きの桜とは、一般には染井吉野より開花が早い桜をさし、伊豆半島では、河津桜、熱海桜、土肥桜など、様々な早咲きの桜を見ることができます。これらの早咲きの桜は、開花時期が早いカンヒザクラの遺伝子が入っていることが多いと考えられています。

桜の生態的な性質として、自家不和合性が挙げられます。一般的な植物の繁殖方法は、柱頭の先に花粉が着く（受粉）ことで結実し、種子をつくります。一方で、自家不和合性をもつ植物の場合、ひとつの花の花粉が同じ花に受粉しても、受精に至らず、結実しません。

従って、クローンである染井吉野の花に染井吉野の花粉が受粉しても、染井吉野の種子はできません。河津桜でも同様です。しかし、これらの栽培品種は全く種子ができないわけではなく、他の野生種や栽培品種との交雑することで、結実します。但し、これによって得られた個体は親と同一な栽培品種にはならず、異なる形質や性質をもった個体となります。すなわち、栽培品種の増殖、遺伝資源の保全の観点から接木等による無性繁殖が重要となります。



参考文献
1 栗野隆（2018）『近代造園史』 建築資料研究社／2 古谷勝則・伊藤弘・高山範理・水内佑輔（編）（2019）『実践風景計画学一読み取り・目標像・実施管理一』 朝倉書店／3 勝木俊雄（2015）『桜』 岩波書店／4 勝木俊雄（2018）『桜の科学 日本の「サクラ」は 10 種だけ？新しい事実、知られざる由来とは』 SB クリエイティブ株式会社／5 川崎哲也（1993）『日本の桜』 山と溪谷社／6 近田文弘（2016）『桜の樹木学』 技術評論社／7 茂木透・石井英美・崎尾均・吉山寛ほか（2000）『山溪ハンディ図鑑 3 樹に咲く花 離弁花 1』 山と溪谷社／8 村田治重（1997）『南伊豆の早咲きサクラ』 静岡県農業試験場研究報告 42 67-75／9 村田治重・進士和雄・山本章吾・渡辺栄・水戸喜平・末松信彦・中村新市・村上寛・石井ちか子・山本宏道（2012）『南伊豆地域における早咲きザクラの探索、増殖、生態解明および観光資源としての利用への貢献』 園芸学研究 11（4）433-438／10 七海絵里香・大澤啓志・勝野武彦（2011）『造園樹木における接木技術の歴史および技術継承に関する研究』 ランドスケープ研究 74（5）405-408／11 日本造園学会（編）（1996）『ランドスケープ大系第 1 巻 ランドスケープの展開』 技術堂出版／12 進士五十八・森清和・原昭夫・浦口醇二（1999）『風景デザイン 感性とボランティアのまちづくり』 学芸出版社／13 白幡洋三郎（2015）『花見と桜く日本的なるもの』再考』 八坂書房



写真－２ 沖縄県石垣島のカンヒザクラ



写真－３ 東京都伊豆大島のオオシマザクラ